2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法			内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学②		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学③		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学④		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学⑤		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学⑥		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学②		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学③		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学④		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学⑤		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学⑥		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学②		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学③		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学④		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学⑤		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学⑥		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学②		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学③		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学④		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学⑤		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学⑥		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学②		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学③		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学④		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学⑤		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学⑥		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学②		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学③		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学④		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学⑤		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学⑥		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学②		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学③		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学④		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学⑤		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学⑥		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験②		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験③		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学		
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学②		
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学③		
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学④		
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学⑤		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学⑥		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学②		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学③		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学④		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学⑤		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学⑥		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論②		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論③		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論④		
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論⑤		
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論⑥		
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学		
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学②		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学③		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学④		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学⑤		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学⑥		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法②		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法③		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法④		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法⑤		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法⑥		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	物理療法		
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	物理療法②		
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	物理療法③		
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	物理療法④		
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	物理療法⑤		

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	物理療法⑥		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法②		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法③		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法④		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法⑤		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法⑥		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験②		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験③		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第91回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種内科疾患についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科疾患		
第92回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種内科疾患についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科疾患②		
第93回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種内科疾患についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科疾患③		
第94回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種内科疾患についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科疾患④		
第95回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種内科疾患についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科疾患⑤		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第96回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種内科疾患についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科疾患⑥		
第97回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脳血管障害		
第98回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脳血管障害②		
第99回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脳血管障害③		
第100回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脳血管障害④		
第101回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脳血管障害⑤		
第102回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脳血管障害⑥		
第103回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種神経・筋障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	神経・筋障害		
第104回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種神経・筋障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	神経・筋障害②		
第105回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種神経・筋障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経・筋障害③		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第106回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種神経・筋障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	神経・筋障害④		
第107回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種神経・筋障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	神経・筋障害⑤		
第108回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種神経・筋障害についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	神経・筋障害⑥		
第109回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷		
第110回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷②		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第111回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷③		
第112回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷④		
第113回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷⑤		
第114回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷⑥		
第115回	実習形式	授業を通じての到達目標	補装具療法についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	補装具療法		
第116回	実習形式	授業を通じての到達目標	補装具療法についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	補装具療法②		
第117回	実習形式	授業を通じての到達目標	補装具療法についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	補装具療法③		
第118回	実習形式	授業を通じての到達目標	補装具療法についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	補装具療法④		
第119回	実習形式	授業を通じての到達目標	補装具療法についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	補装具療法⑤		
第120回	実習形式	授業を通じての到達目標	補装具療法についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	補装具療法⑥		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			

《授業科目における学習内容》

国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。

《成績評価の方法と基準》

模擬試験(国家試験形式)100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

国家試験過去問題
クエスチョン・バンク　理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題)
国試の達人　各分野の関連教科書など

《授業外における学習方法》

国家試験過去問題の解説作り。
頻出問題の反復学習。

《履修に当たっての留意点》

国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張りましょう。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第121回	実習形式	授業を通じての到達目標	ADLについての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	日常生活活動(ADL)		
第122回	実習形式	授業を通じての到達目標	ADLについての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの内科疾患分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	日常生活活動(ADL)②		
第123回	実習形式	授業を通じての到達目標	ADLについての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	日常生活活動(ADL)③		
第124回	実習形式	授業を通じての到達目標	ADLについての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脳血管障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	日常生活活動(ADL)④		
第125回	実習形式	授業を通じての到達目標	ADLについての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	日常生活活動(ADL)⑤		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第126回	実習形式	授業を通じての到達目標	ADLについての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの神経・筋障害分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	日常生活活動（ADL）⑥		
第127回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種法制度等に関連する国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	理学療法概論		
第128回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種法制度等に関連する国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの脊髄損傷分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	理学療法概論②		
第129回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種法制度等に関連する国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	理学療法概論③		
第130回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種法制度等に関連する国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの補装具療法分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	理学療法概論④		
第131回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種法制度等に関連する国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	理学療法概論⑤		
第132回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種法制度等に関連する国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストのADL分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	理学療法概論⑥		
第133回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第134回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 指定テキストの理学療法概論分野の確認（30分） 事後学習 解説作り（30分）
		各コマにおける授業予定	模擬試験②		
第135回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 各種問題集	事前学習 頻出分野の確認（30分） 事後学習 模試の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	模擬試験③		